

名 称	小平市社会福祉協議会ボランティアセンター
所 在 地	〒187-0043 東京都小平市学園東町1-19-13
連 絡 先	TEL : 042-344-1217 FAX : 042-341-6220 URL : http://kodaira.main.jp

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 小平市 約 178,350人

小平市は、東京都多摩地区の東北部、いわゆる武蔵野台地にあり、都心から西26kmの距離に位置している。玉川上水、野火止用水、狭山境緑道などがあり、緑豊かなベッドタウンである。本市は、教育分野と福祉分野との連携が良く取れており、小平市教育委員会と小平市社会福祉協議会と連携して取り組む事業が多い。

事業の名称、活動概要

名称 小平子どもボランティアスクール <ちょいエコプロジェクト>

平成14年度から学校教育で実施されている「総合的な学習の時間」において、本市では多様な体験活動が繰り広げられている。これらの活動を地域に根付いた実践的な活動に結びつけ、かつ活動の中核を担う子どもボランティアを養成することを目的に、同年度から始まった。5回目の開校となった今年度のスクールでは、大人・子ども共に関心の深い「環境」をテーマとして取り上げた。

- ① 10/6 開校式、環境マンガ家本田亮氏講演会
- ② 10/20 「ビンの中の地球づくり」
- ③ 11/10 「花いっぱい活動」
- ④ 11/24 「牛乳パックで生ゴミたい肥を作ろう」
- ⑤ 12/8 「落ち葉を集めて農家に届けよう」
- ⑥ 12/22 「100万人のキャンドルナイト」
- ⑦ 平成20年1/12 修了式

事業の実施に至る背景、連携・協働のねらい

子どもたちが、地元で長年、ゴミ対策や緑化活動に取り組んでいる地域の大人に接し、共に活動することで、ボランティア・市民活動とはどういうものなのか、体験を通して学ぶこと、また、自分も市民の一員であるという自覚を持つこと、自分もできる“町にやさしいこと”に気づくきっかけづくりを目的とした。

事業の内容

① 事前準備として行った取組（企画段階）

特定非営利活動法人「小平・環境の会」の代表の方に今年度子どもボランティアスクールの運営アドバイザーを担っていただき、企画段階から話し合いに加わって具体的な活動内容や活動の回数などについてアドバイス等いただいた。また、子どもの参加を募る際は、市の教育委員会や市内小学校長、各学校の青少年対策委員会などに告知し、子どもへの呼び掛けをしていただくよう協力を仰いだ。

② 活動の展開内容（活動段階）

毎回、講師を前述の「小平・環境の会」の代表の方をお願いした。また、「小平・環境の会」メンバーの方や「花いっぱい会」のボランティアのみなさんにも活動のサポートをお願いした。その他、「落ち葉を集めて農家に届けよう」という活動時には、子どもたちが集めた落ち葉の届け先として、地元で350年、農家を営んでおられる市民の方にご協力いただいた。

また、今回は親子参加も勧めており、活動時の後片付けなど、保護者の方も一緒に取り組んだ。

③ 連携・協働に当たってのポイント・留意点

毎回、活動前に前述の運営アドバイザーと活動当日のスケジュールや内容について打合せした。子どもたちが楽しく活動する中で興味や自主性を持って取り組めるように工夫した。その他、活動して終わりではなく、必ず振り返りの時間を作って感想などを発表させたり、ニュースレターを作成し、郵送するなど次へつながる活動となるよう心掛けた。

事業の成果と今後の課題

日頃同じ学校以外の子どもと接する機会の少ない子どもたちに、学校の垣根を越えたところでの交流を図る機会になっている。また、学校長から「大人に見守られ地域活動に参加できる貴重な機会」と評価を得ているように、「先生」でも「親」でもない大人に見守られ、共に活動することで地域社会を意識し、子どもの中に一市民としての自覚が芽生えるきっかけにもなることが期待できる。



自分だけのオリジナル地球を作っている



地域の大人に植栽の手ほどきを受けた



牛乳パックでたい肥づくり



雪のように舞い散る落葉を集めて農家に届けた

執筆者職・氏名：小平市社会福祉協議会ボランティアセンター
スタッフ 涌井 真知子

コーディネーターからの一言コメント

「総合的な学習の時間」での学びを、地域に根付かせようと、社会福祉協議会と学校が連携して、環境問題に取り組んだ事例である。NPOやボランティアの協力できめ細かな取り組みがなされ、子どもの市民としての自覚が期待される。

(中根 惇子)